

信州大学附属図書館／長野県立歴史館／長野県信濃美術館／県立長野図書館

「信州 知の連携フォーラム」から 新しい“知のインフラ”を考えるメッセージを発信します

このたび、「信州 知の連携フォーラム」（信州大学附属図書館／長野県立歴史館／長野県信濃美術館／県立長野図書館）から、「with コロナ」と呼ばれる時代に向けた **MLA (Museum, Library, Archives)** が担う責務として、新しい“知のインフラ”に関するメッセージを発信します。

1. 主旨 一過去・現在を未来へと架橋する「知のインフラ」を考えていくために一

- MLA (Museum, Library, Archives) は、先人の経験・叡智を礎にして幾多の危機を乗り越え、社会の営為を積み重ねてきた人類の営みを、収集・保存・整理・発信する役割を担っています。コロナ禍により休館を余儀なくされましたが、各館がオンラインでできることを工夫しながら、現物へのナビゲーションとしての情報を発信し続けました。
- 2016年に発足した「信州 知の連携フォーラム」は、「信州における価値ある地域資源の共有化」と「新たな知識化・発信」について議論を重ねてきました。その成果を「知のインフラ」として形にしたのが「信州ナレッジスクエア」で、ご自宅等からご活用いただけます。
- MLA は、過去・現在を未来へと架橋する責務があり、MLA の活動が止まることは、楽しみを失うばかりでなく、未来を失うことに他なりません。これからも、「知のインフラ」のあり方を、皆さまとともに考えていきます。

(※本文は別添資料をご参照ください。各館のホームページにも掲載予定です)

2. メッセージ発信者

信州大学附属図書館長	渡邊 匡一
長野県立歴史館長	笹本 正治
長野県信濃美術館長	松本 透
県立長野図書館長	森 いづみ
前県立長野図書館長	平賀 研也



3. 「信州 知の連携フォーラム」とは

「信州 知の連携フォーラム」は、長野県における知と学びに関わる各種の文化施設（博物館、美術館、図書館、文書館などのいわゆる **MLA : Museum, Library, Archives**) が連携して、信州における価値ある地域資源の共有化をはかり、新たな知識化・発信を通して地域住民の学びを豊かにし、地域創生につなげていく方策について語り合う場として 2016年に発足しました。

▼お問合せ

教育委員会事務局 文化財・生涯学習課総務係
(課長) 小林 司 (担当) 小澤 多美子
電話 026-235-7439 (直通)
026-232-0111 (代表) 内線 4424
FAX 026-235-7493
e-mail bunsho@pref.nagano.lg.jp

県立長野図書館
(館長) 森 いづみ (次長) 中村 竜生
電話 026-228-4939 (企画協力課)
026-228-4500 (代表)
FAX 026-291-6252
e-mail ken-tosho@library.pref.nagano.jp



— 輝かな暮らしが営まれる美しい信州 —
学びと自治の力で拓く新時代
しあわせ信州創造プラン2.0(連携推進プログラム)推進中

幼保・小・中・高の一貫した
「**学びの改革**」を推進

学び応援キャラクター「信州なび助」
◆長野県教育委員会信州なび助

長野県教育委員会